

## サニー技研、Open SDV Initiative が提案する SDV 体験シミュレーション環境「MESH」開発に参画 ～ 車載通信技術の知見を活かし、SDV 時代の開発基盤を支援 ～

株式会社サニー技研(本社:兵庫県伊丹市 代表取締役社長:清水 晶宏)は、名古屋大学発の産学共創プロジェクト「Open SDV Initiative」<sup>注1)</sup>が提案する、SDV(Software Defined Vehicle)<sup>注2)</sup>のあり方を体験できるシミュレーション環境「MESH」の開発に参画しました。

Open SDV Initiative は、SDV 時代に向けて車両の各種機能をソフトウェアから利用するためのビークル API <sup>注3)</sup>策定を目指す産学共創プロジェクトです。自動車メーカー、部品メーカー、IT 企業など多様な業界から企業が参加し、日本のモビリティ産業の競争力強化に取り組んでいます。

当社はこれまで、CAN/LIN などの車載通信ソフトウェアや車載通信評価ツールの開発・提供を通じて、車載ネットワークの検証・開発環境を支えてきました。今回、その知見を活かし、MESH を構成するネットワークの一つとして採用された CAN 通信の実装に技術協力を行いました。

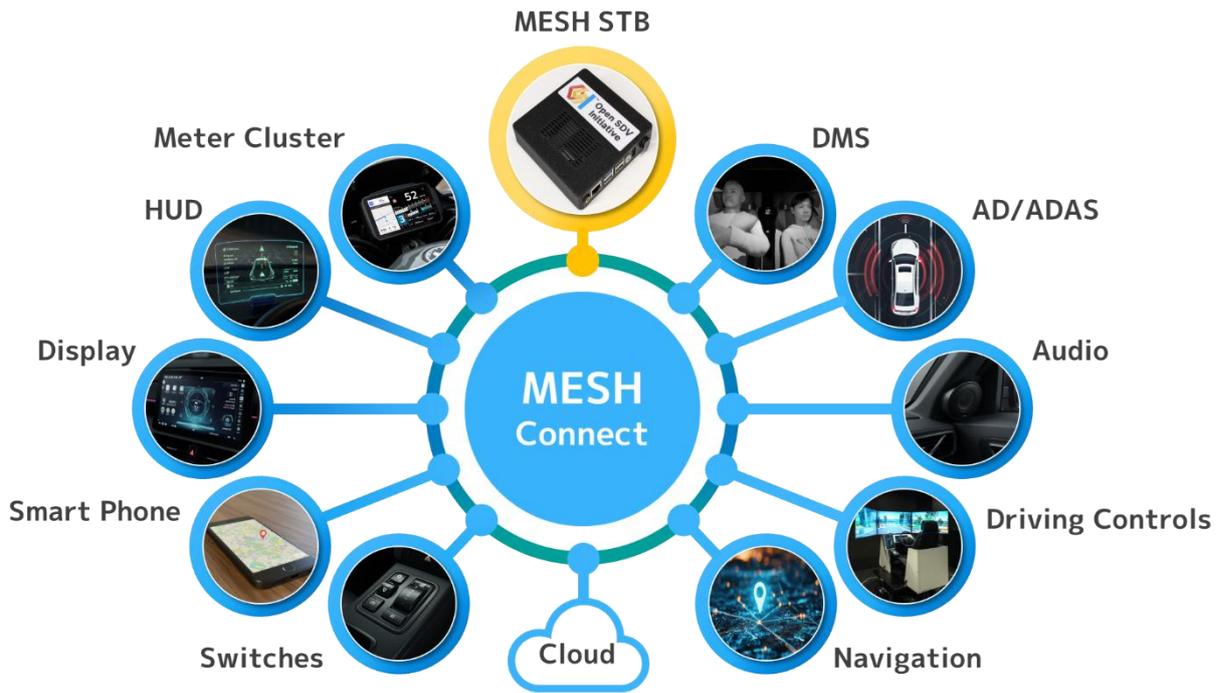
### MESHが実現する次世代SDV開発とモビリティの未来像

MESH(Methodological & Experience Simulation Hub)は、SDVが創出する未来の移動体験を構築・体感できるシミュレーション環境です。実車を用意することなく、新しいモビリティサービスの開発・検証が可能となり、自動車業界以外の企業も参入しやすくなることで、SDVの普及と発展に貢献します。

Open SDV Initiativeでは、ボディー/HMI/AD・ADASなどの車両ドメインごとのビークル API策定し、それらを活用したユーザーサービスの検討を7つのワーキンググループで進めています。

MESHでは、策定したAPIを用いてサービスを実際に動作させることで有用性・実用性を検証できます。開発者は公開されたAPIを使って実車を用いることなく、多様なアイデアを「体験シナリオ」として実装・検証することが可能です。

当社は、これまで培った車載通信分野での知見を活かし、MESH内でのCAN通信機能構築に貢献することで、SDV開発環境の整備に寄与しています。

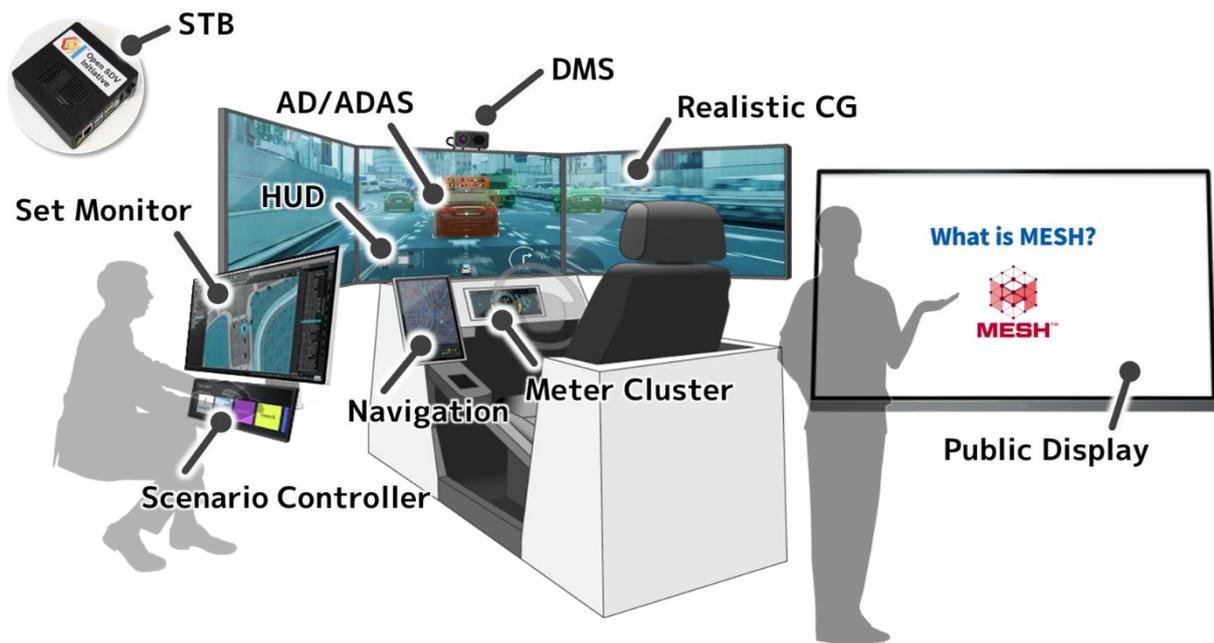


(MESH の構成)

### EdgeTech+ 2025にてMESHを初出展！

OSDVI は日本最大級の組込み・エッジテクノロジーの総合展示会である「EdgeTech+ 2025」に MESH の実機を初展示します。

OSDVI策定のAPIを用いた複数のサービスシナリオをMESH上で実際に体験いただけますので、ぜひご注目ください。



(MESH 実機)

## <出展概要>

EdgeTech+ 2025(<https://www.jasa.or.jp/expo/>)

日時:2025年11月19日(水)~21日(金)10:00~17:00

(20日(木)のみ18:00まで)

会場:パシフィコ横浜

ブース:TOPPERSパビリオン内

Open SDV Initiative(名古屋大学 大学院情報学研究科 附属組込みシステム研究センター)

### MESH体感シナリオ例:

- MESH 価値を体感できるベースシナリオ
- AD/ADAS 関連の API を用いた安全運転診断や個人への保険提案シナリオ
- DMS(ドライバーモニタリングシステム)や AI アシスタントと連携した新発想の HMI

来場者の皆様には、実際にMESHを操作いただきながら、SDVが実現する未来のモビリティ体験をご体感いただけます。

## <用語説明>

注1:Open SDV Initiative

リーダー:名古屋大学 大学院情報学研究科 教授 高田 広章。

最新の情報については、以下のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.nces.i.nagoya-u.ac.jp/osdvi/>

注2:SDV(Software Defined Vehicle)

OTA(Over The Air。無線ネットワーク。)によってソフトウェアの更新や機能追加を行うことができる車両。

注3:ビークル API(Application Programming Interface)

自動車の完成車メーカーやサプライヤ及び自動車業界以外のサードパーティが提供するアプリケーションソフトウェアが、ビークル OS<sup>注4)</sup>を通じて種々の車両のリソース(デバイスやデータ)を利用するためのインターフェイス。

注4:ビークル OS (Operating System)

アプリケーションソフトウェアが車両毎のハードウェアの違いを意識しなくても良いように車両のハードウェア違いを吸収する他、アプリケーションソフトウェア同士の競合解決や最終的な車両の安全性を確保するソフトウェア。

## 株式会社サニー技研について

サニー技研は1974年の創業以来、50年以上にわたり、ハードウェア・ソフトウェア・サービスを一体で提供し、付加価値の高いソリューションを創出してきました。

半導体産業で培った技術基盤をもとに、1998年から車載ネットワーク通信分野に参入、以来四半世紀にわたり、通信ソフトウェア(CAN/CAN FD、LIN、CXPI)と評価ツールのスペシャリストとして、国内外の自動車メーカー・部品メーカーの開発を支え、世界のモビリティ社会に貢献しています。

詳細は当社ウェブサイトをご覧ください。

URL:<http://www.sunnygiken.jp>

## お問い合わせ先

株式会社サニー技研 名古屋事業所

ビジネス企画部／倭

〒460-0003 名古屋市中区錦2-2-13 名古屋センタービル本館5F

Tel:052-221-7600

E-Mail:[info@sunnygiken.co.jp](mailto:info@sunnygiken.co.jp)

記載された社名、団体名および製品名は各社の商標または登録商標です。